平成二十九年度　立正大学付属立正高等学校入学試験問題　国語（第一回）〔解答用紙〕

受験番号	氏名	※得点

【二】

問一　㋐ 赴任　㋑ 模範　㋒ しょうれい　㋓ なんくせ　㋔ 嘆

問二　A ア　B エ　C ウ　D オ

問三　エ

問四　イ

問五　[a] ウ　[b] イ　[c] カ　[d] イ　[e] ケ　[f] ア　[g] ア　[h] ケ　[i] エ

問六　エ

問七　初め 古い身分意識（完答）～終わり 基本的傾向

問八

1	読者（私達）が長い間坊っちゃんを理想化し、坊っちゃんに身を寄せて「坊っちゃん」（この小説）を読んできたから。
2	読者である私達自身が赤シャツや野だいこの同類であるから。

問九　日本的な薄汚さ

問十

1	ア
2	田舎者を蔑視するよう（解）→田舎者を蔑視する姿勢をとる 10 な 15 教師。

問十一　イ

【二】

問一 ㋐ 帽子 ㋑ うなが ㋒ 軌道 ㋓ じゅんしゅ ㋔ 孤独

問二 1 A エ B ウ C イ D オ E ア 2 副詞

問三 日々の役割を離れ、一人の人間に立ち帰った、普段の母とは違う顔。（別解）一人の人間に立ち帰った顔。

問四 川の流れのそばで仕事疲れの心身を憩わせることができたから。

問五 ウ

問六 一心不乱

問七 心の何処かで幼年時代の記憶をさぐり、生の根源を覗きたくなるような何か闇雲な情熱と結びついたもの。

問八 1 エ 2 川べりを遡行する愉しみ

問九 川

問十 イ

【三】

問一 ㋐ おくよう ㋑ したまう・したもう ㋒ うえ ㋓ くわせ

問二 ① イ ④ ウ

問三 ② イ ③ ア

問四 初め あはれ ～ 終わり れなれ （完答）

問五 エ